

「スギ花粉の来襲 (3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

スギ花粉による花粉光環は、例年2月下旬に出現が始まり、3月上旬～中旬ぐらいにピークになることが多い。今年は「スギ花粉の飛散量が多くなる」と予報されていて、実際に2月から花粉光環が観測されていた。この時期、まだ咲いている花も少なく、季節感のある写真を撮るのは難しい。



どうしても、このような建物の角で太陽本体(光球)を遮蔽した写真が多くなる。写真は小学校の校庭東側にあるマンションの給水塔で太陽を隠した写真だ。



360°の光環とまではいかないが、270°ほどが写っている。この写真は撮ったままの写真で、肉眼での観察に近い。実は少し「コントラスト」や「彩度」を上げると、光環が二重・三重に見えるようになる。この写真でも赤い環が2カ所に見える。



少しでも季節感のある写真を撮ろうと思い、冬枯れのイチョウで遮光して撮ってみた。しかし、これでは12月でも同じ写真になってしまうだろう。



この日、校庭の中央付近で花粉を採取してみた。スライドをわずか2分置いただけで、100倍の顕微鏡視野に、平均3個の花粉が落ちていた。



400倍に拡大すると、ほぼすべてがこのような形状の花粉だった。これはスギ花粉の特徴である。このリンゴのようなかわいらしい花粉が「花粉光環～美しき嫌われ者～」の正体である。